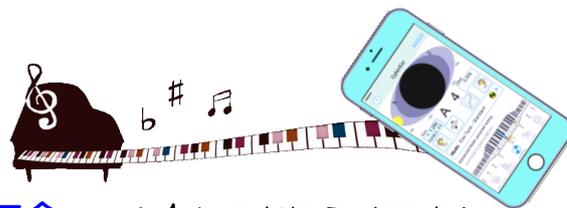


日本ピアノ調律師協会 関東支部6班のみなさまへ



「2017 秋の研修」 & 「かなり気の早い忘年会 part.1」のお知らせです！

研修会は7月の班会議に続き、高田馬場の音楽専門学校ESP学園さんのお教室をお借りして開催します。多数ご参加予定のESP調律科の学生さんとともに、調律師の未来を占うアプローチとして鶴田圭寿さんをお招きし、最新の音響解析ソフト(電子チューナー)を用いた研究会を行いたいと思います。

同日の懇親会は「と～っても気が早い」ですが、2017の忘年会としての開催です。

研修会に出られない方も、ぜひぜひご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

<研修会>

『アンドロイドは調律師を電腦化するか?』 ～ユニゾンとハンマーテクニック～

講師：鶴田 圭寿 日本ピアノ調律師協会会員 アメリカピアノテクノロジー社 RPT 認定技術者
鶴田さんのサイト『ピアノのしくみ』 <http://pianonoshikumi.sblo.jp>

日時：2017年10月29日(日) 午後1時～5時30分

会場：ESPエンタテインメント東京12号館404教室(新宿区高田馬場3-4-7)

会費：6班/ESP学生：無料、左記以外：研修会のみ参加は1,000円/懇親会参加者は無料

(講師の鶴田圭寿さんより)

関東支部6班のみなさまこんにちは。三浦班長と大森先生よりお声かけいただき、当セミナーを開催することになりました。最新の音響解析ソフトを使って、実験と実習を交えながら楽しい研修にできればと思っています。みなさまのご参加、お待ちしております。

音とは何か?

本編に入る前に、まず根本的な問題に立ち返ります。ふだん、私たちはピアノをより良い状態にするため、唸りやノイズを追い続けていますが、そもそも音とは何なのでしょう?いくつかの実験を通してあらためて考えます。そして電子チューナーは音をどのように捉えているのでしょうか?

理想のユニゾンとは?

本編のテーマはユニゾン。調律を学ぶ者が、まず最初に習う技術でありながら、経験を積んだ調律師にとっても永遠の課題となるユニゾンについてです。言葉の意味の通りにとらえるなら、3本の弦のピッチが全く同じ状態が理想と言えるでしょう。しかし、わずかにピッチのズレたユニゾンが織りなす様々な音色も魅力的に聴こえます。意見の分かれるところかと思いますが、みなさまにとって、理想のユニゾンとはどういう音でしょうか?

ピッチを維持するには?

理想のユニゾンでも、一度の打弦で狂ってしまうようでは実用的とは言えません。ピアニストの強靭な打鍵に耐え、少しでも長くピッチを保つためにはどうしたら良いのでしょうか?私たちが操作できるのはハンマーと打鍵のみですね。変えられるのはチューニングピンと弦の状態です。どのように操作してどんな状態になった時にピッチの保持力(スタビリティ)は高くなるのでしょうか?

【持ち物】チューニングハンマー(貸出あり)、電卓(お持ちの方は関数電卓、スマホアプリでも可)、筆記用具

<気の早い忘年会>

日時：2017年10月29日(日) 午後6時30分～



会場：<中華料理> 石庫門(せっこもん) 高田馬場店 新宿区高田馬場2-18-11 稲門ビルB1)

※JR線/東西線/西武新宿線『高田馬場駅』から徒歩1分。裏面地図ご参照ください。

会費：3,000円

なお、それぞれ 出欠のお返事は ご予定がお決まり次第、

三浦のメールアドレス u7vintage@yahoo.co.jp にメール、もしくは

三浦携帯電話 **090-1105-2182** へ ご連絡いただければ幸いです
(経費節減のため、一部の方をのぞいて返信ハガキの同封をいたしていません。)

10/7以降に、三浦より電話にて ご連絡いたします！よろしくお申し上げます。

(※ 6班以外の方は、三浦あてに電話またはメールでお申し込みください。)

平成 29 年 9 月 13 日 関東支部 6 班 三 浦 徹

↓地図 A : 研修会会場 (午後1:00~)

ESP 学園 ESP エンタテインメント東京 12 号館 404 教室
(新宿区高田馬場 3-4-7)

※ 高田馬場駅ガード下 (JR なら早稲田口) の向かい側、「さかえ通り」に入り、鳥貴族の黄色い看板を過ぎてすぐ (7ELEVEN の手前) を左折、山田卓球を左に見てすぐ先右側です ♪

B : 忘年会会場 (午後6:30~、会費: 3,000 円)

石庫門 [せっこもん] 高田馬場店 (新宿区高田馬場 2-18-11 稲門ビル B1F)

※ JR 早稲田口出て、右斜め方向。正面信号渡って右、マックがあるビルの地下一階です ♪

